学校番号	305

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ（文系）	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ新版」（東京書籍）						
副教材等	「読解を大切にする体系古典文法　八訂版」（数研出版） 「体系古典文法　学習ノート」（数研出版） 「わかる・読める・解ける　古文単語 330」（いいずな書店） 「新訂総合国語便覧　新版四訂」（第一学習社） 「マスター古典２」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を読むことで、日本の歴史や文化・伝統への関心が深まり、また、自分自身のものの見方・考え方が広がっていき、人生が豊かになります。古典を読むためには、古典文法、古典単語、古典常識を理解し、自分で文章読解を進めていく必要があります。日々の予習、復習を着実に積み重ねて下さい。提出物を期限通りに提出することは必須です。

2　学習の到達目標

古典としての古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、問題集、補充プリントなど）			・記述の確認および分析（問題集） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、問題集、補充プリントなど） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(中間考査まで)一八時間	随筆1	『枕草子』 「九月ばかり」 「宮に初めて参りたるころ」 「雪のいと高う降りたるを」	○			◎	○	a: 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえようとする。 d:初出仕の頃の作者の様子と心情を読み取っている。 d:作者の行動に対する定子や人々の評価を読み取っている。 ｄ:定子の人柄と様子を理解している。 e:重要古語と助動詞の意味を確認する。 e：「枕草子」の内容と作者について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小話	『韓非子』 「不死之薬」	○			◎	○	a:比較的短い平易な文章を繰り返し音読し、漢文独特の簡潔な表現にいっそう慣れ親しむとともに基本的な読解力を身につける。 d:登場する人物の関係や考え方を理解することによって、自分の生き方や考え方を深化させる。 e:漢文の基本句形を理解する	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
前期(七月考査まで)九時間	物語1	『伊勢物語』 「渚の院」 「初冠」	○			◎	○	a:歌物語というジャンルの特徴、「伊勢物語」について理解しようとしている。 d:できごとの経緯を理解している。 d:贈答歌それぞれに込められた心情について理解している。 e:和歌の修辞を理解する。 e：助動詞、助動詞の識別ができる。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	詩 1	『近体詩』 「鹿柴」「江南春」	○			◎	○	a：漢詩に表現される作者の心情を理解しようとする。 d：詩の調べを理解し、暗唱している。 d:自分なりに表現を工夫して訳し、内容を理解している。 e：近体詩の決まりや作者のことを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
前期(期末考査まで)一五時間	思想 1	『儒家と道家』 「論語」 「孟子」 「老子」	○			◎	○	a:諸子百家の活動時期や著作等について理解する。 a：正確に書き下し、リズムに注意して音読している。 d：それぞれの思想の内容や論理性を理解している。 d：「儒家」「道家」の違いを理解している。 e：品詞を意識し、構文について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	日記	『更級日記』 「門出」 「物語」	○			◎	○	a:女流日記文学や作者について概要を理解する。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 e:作者の少女時代の、物語に対する初々しい憧れを読み味わう。 e:接続助詞の意味を確認する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期(中間考査まで)一八時間	物語 2	『源氏物語』 「光る君誕生」 「若紫」	○			◎	○	a:源氏物語の概要を理解する。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d:登場人物の行動や心情を読み取り、物語の面白さを味わう。 e:作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 e:最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	文1	『李白』 「春夜宴桃李園序」	○			◎	○	a:作者の人生観について理解を深めようとしている。 d：正しく訓読し、現代語訳している。 d：各段落の要点を整理し、話の展開をまとめている。 e：正確に音読しており、本文の表現の特徴やその効果について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期(期末考査まで)二〇時間	物語2	『大鏡』 「花山天皇の出家」 「道長と伊周―弓争い―」	○			◎	○	a:大鏡の概要を理解する。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 e：登場人物の行動や心情を読み味わう。 e：歴史上の人物の逸話から生き生きとした人物像をとらえる。 e：敬語について敬意の方向を確認する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	史記1	『項羽』 「鴻門之会」	○			◎	○	a:作者作品について理解を深め、中国の歴史への関心を高める。 d:本格的な中国の歴史書の、有名な場面を扱った長めの文章を読み、読解力を養う。 e:本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 e:重要な句形について理解する。 e:登場人物の行動や心情を読み取り、歴史上の劇的な場面を読み味わう。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

4　学習の活動

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。